

第 21 回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

令和 8 年 1 月 20 日（火）午後 2 時から午後 4 時までの間

2 場所

大阪府中央区難波 4 丁目 3 番 3 号

ホテルロイヤルクラシック大阪 3 階「麗・壽」

3 出席者（敬称略）

役	職	氏名
大阪府副知事		森岡 武一
大阪市副市長		西山 忠邦
大阪府警察本部副本部長		篠原 英樹
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長		岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人		福長 徳治
大阪商工会議所会頭		鳥井 信吾
関西経済同友会常任幹事		岡嶋 信行

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成 17 年の第 1 回目の会議開催以来、今回で 21 回目となり、今年度も無事に開催されたことに対し、関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。

当協議会設立以来、行政、警察、関係機関、団体、地元が連携しながら様々な取組を行い、その結果、「平成 22 年には建築物の用途を制限した宗右衛門地区計画条例の制定、宗右衛門通りの無電柱化、石畳化」、「平成 25 年には心斎橋筋商店街における景観協定、平成 28 年には戎橋筋商店街における建築協定の締結」を行うなど、ミナミのブランド力向上と賑わいある健全な街づくりに向けて取り組んできました。

また、令和 5 年には、なんさん南北通りにおかれても、道路空間再編を機に建築協定を締結されました。

今後、ますますミナミの街を活性化するために、本日、私からは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を代表しまして、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあ

ふれるまちの実現に向けて」の2つの観点から、現状の説明と要望を行いたいと思います。

はじめに、客引き対策については、平成17年の当協議会設立当時と比べ、客引き行為者は減少し、一定程度改善されてきていると感じております。

違法風俗店等の摘発、暴力団等の犯罪組織の取締り、「グリ下」における少年補導活動など、大阪府警全体でミナミの治安維持と環境浄化に取り組んでいただきました。

また、宗右衛門町の違法デジタルサイネージ問題に関しましては、大阪府警、大阪市が連携して早期に対応いただき、問題の大きな改善が見られ、大変心強く感じており、深く感謝申し上げます。

大阪市におかれましても、平成26年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、客引き適正化指導員による巡回、指導などを行っていただき、客引きの適正化を図っていただいております。

また昨年度から、業務委託による繁華街対策員の運用を開始し、客引き対策を強化していただいたほか、客引き防止の啓発面も精力的に行っていただき、感謝しております。

現在ミナミは、国内外から多くの観光客や来街者が訪れておりますが、誰もが安心してミナミの街を楽しんでいただけるよう、引き続き、悪質な客引き行為者の排除や、違法店舗の一扫に向けて、対策を進めていただきたいと思います。

地元といたしましても、警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールや違法風俗店・悪質店舗の排除など、まち全体で「違法な客引き等を許さない」気運醸成に注力してまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、放置自転車やはみ出し看板など、歩行者の安全、安心な通行環境の確保につきましては、これまで、大阪市が地元の要望を取り入れて、駐輪場附置義務条例の改正による規制緩和、放置自転車の撤去活動、駐輪場の増設を、また大阪府警・大阪市には地元の活動に合わせ、はみ出し看板、はみ出し営業の是正指導などを精力的に進めていただき、厚く感謝申し上げます。

放置自転車対策につきましては、官民連携による自転車ワーキングにより、放置の実態調査や他都市事例の研究に加え、取組内容に関する報道発表や啓発イベントの実施など、様々な取り組みを進めています。

地元といたしましても、ミナミで働く店舗経営者やお店を利用される方などに対して駐輪マナーなどへの啓発を強化しておりますが、大量の放置自転車は回遊性や景観を損なうばかりか緊急車両の進入を妨げるなど、国際観光エリアとして由々しき状況と懸念しています。

その様な中で大阪市におかれましては、今年度より開始した民間事業者による毎晩の放置自転車撤去で、放置自転車台数は減少傾向が顕著となり、その成果を実感しております。

また、市民の間にも行動に変化がうかがえ、今年度も「アルケル・イケル」というフレーズで徒歩への行動変容を促すキャンペーンを展開しています。

今後とも、地元との緊密な意見交換や情報交換を通じ、官民の知恵と対策の強化により、現状の打破に取り組んでいけるよう、よろしく申し上げます。

次に、魅力とにぎわいのあふれるまちについてですが、訪日外国人旅行者は、昨年1月以降、連続して単月過去最高を記録しています。

そのような中で、「人中心の空間となったなんば広場」の活性化は、世界を惹きつける観光拠点を形成するものとして、ミナミだけでなく、大阪・関西の活性化のためにも重要な取組であると考えております。

現在、新たな枠組みで「なんば広場マネジメント法人設立準備委員会」が大阪市と連携の下、維持管理ならびに利活用の運用を進められております。

引き続き、イベントなど賑わいの形成と、日常の憩いの空間の持続的かつ効果的な運営が官民連携で展開されることと期待しております。

今後とも大阪府・大阪市・大阪府警をはじめ、ここにお集まりの皆様のご協力とご支援をお願いします。

御堂筋につきましては、長堀通以南の側道歩行者空間化の整備は終了しており、整備にあたっては、地元と関係機関が協議を重ね、積極的な提案を行うとともに、昨年は「御堂筋チャレンジ2025 みちの未来体験EXPO」など、空間活用の実験を積み重ねておられます。

さらに、この空間再編を機に機運が高まり、地元では環境改善と活性化の一体を図る取り組みが進んでいます。

例えば、御堂筋と東西の商店街の連携や宗右衛門町においては歩行者空間化の推進、更にデータを駆使して回遊を消費につなげていくための取組も大阪公立大学や大阪メトロの参画の下、産官学で進められています。

万博時に、御堂筋をサテライト会場に見立て、世界に発信する事業も実施したと伺っており、来年には完成90周年を迎える世界水準のメインストリート御堂筋として、一層の活用と発信を図っていく上で、万博後のレガシーとなるような制度や運用面での工夫をお願いします。

また、完成以来21年目となるとんぼりリバーウォークは、官民一体となった取組や管理運営を委託されている南海電鉄様の努力もあり、多くの観光客で賑わっていますが、秩序ある空間、高質な景観・環境を保っていくことが何よりも大切で、官民による検討会において環境美化の対策を検討し、観光ニーズの高度化への対応を具体的に進めていただくようお願いします。

今後も「とんぼりリバーウォーク」のブランディングなど、新たな取組を通じて「風情あるミナミのまち」の更なる魅力発信につなげていき、世界から注目される観光地づくりへの活動を推進したいと思います。

昨年は大阪・関西万博の開催もあり、多くの方々にミナミの魅力を発信できたと思います。

その一方で、観光化の進展に伴う課題にも直面しており、また、エンターテインメントの街ミナミの伝統を引き継いでいくことは、地元の熱意だけでは課題解決は困難であり、行政、各関係機関のお力添えが必要です。

行政におかれましては、ミナミ地区における課題を把握する取組も予定されているとお聞きしていますが、総合的かつ的確にとらえていただき、地元と一体となったビジョンのもと、強いリーダーシップを発揮していただき、事業化に向けての予算化や運用面など、前例にとらわれない、スピード感のある思い切ったご対応をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府副知事

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の岡本会長、福長発起人をはじめ、ミナミ活性化協議会にご参画の皆様方におかれましては、日ごろからミナミのまちづくり、魅力創出、安全・安心なまちづくりにご尽力いただいていることに、この場を借りて深く感謝申し上げます。

昨年は、皆様のご支援・ご協力を得て、大阪・関西万博を成功裏に開催することができました。

国内外の2,900万人を超える来場者が「いのち輝く未来社会」を体験し、会場では連日、子どもたちをはじめ多くの皆様の笑顔と感動があふれました。

また、万博にあわせ、各国との文化・外交・ビジネス分野での交流も大きく進展し、関連投資や来阪旅行者による需要拡大が大阪経済に大きなインパクトをもたらすなど、様々な成果を得ることができました。

今年はこの成果を糧に、開催地・大阪として、世界に伍する経済力・都市力と魅力を持つ「副首都・大阪」の早期実現に向け、取組を進めてまいります。

ミナミといえば大阪の顔であり、国内外を問わず多くの旅行客が訪れ、大阪の魅力と賑わいを世界に発信し続け、大阪の成長・発展を支えてきた、ここミナミのまちづくりというのは非常に重要であります。

地元の皆様には、地域の活性化や、魅力の創出に加え、安全確保のため、夜間のパトロール、放置自転車対策、悪質な客引き対策などを継続して実施していただき、非常に感謝しております。

また、大阪府警察におかれましては、悪質な客引きの取締りや違法風俗店の取締りなどに積極的に取り組んでいただいております。大変心強く思っております。

大阪府としましては、青色防犯パトロール車両を活用した客引き対策、特殊詐欺対策などの広報啓発活動のほか、大阪府青少年健全育成条例に基づいた、カラオケボックスなどの夜間営業施設への立入調査を実施しております。

青少年にとって良好な社会環境を作っていくことで、少年による犯罪行為への加担、また、加害者にも被害者にもならないということを追求し、ミナミの善良な歓楽街環境構築のため尽力してまいります。

また、観光客の恒常的な集中により、ごみの投棄など、まちの環境に深刻な影響が生じています。

そのため、「ごみ、たばこ、トイレ、清掃」を重点分野とし、宿泊税を財源に、府市で課題解決に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、皆様と一緒に「ええまちミナミ」の実現に向けて取り組むとともに、万博のレガシーを継承し、大阪を魅力と賑わいがあふれる、安全・安心な都市として世界に発信してまいりますので、引き続き、皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○ 大阪市副市長

平素は、大阪市政の各般にわたりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本協議会は、大阪最大の歓楽街である「ミナミ」の活性化に向け、地域の皆様、経済界、行政、警察の代表者が一堂に会し、知恵を出し合い、協力しながら様々な活性化方策に取り組む、官民連携、市民協働のまちづくりとして、非常に意義深い集まりであると認識しております。

私からは4点についてご説明申し上げます。

1点目は客引き行為への対策、2点目は放置自転車対策を含む通行環境の確保、3点目は御堂筋の活性化、4点目は魅力と賑わいの創出という項目でご説明いたします。

まず、「客引き行為等の対策」であります。平成26年の市条例の施行以降、客引き行為等適正化指導員の巡回・指導を継続しており、令和7年末までに延べ436件の過料処分を行っております。

また、昨年度からは業務委託による繁華街対策事業を開始して、戎橋を中心に繁華街対策員を配置し、客引き行為者に対する口頭注意や、来訪者に対する広報啓発活動を行いましたところ、前年と比べて客引き行為者が減少するなど、一定の効果がみられております。

来年度はさらに対策を加速させるため、対策員の増員や活動時間・活動場所の拡大を検討しており、これまでの活動に加え、悪質なホストクラブによる被害防止を目的とした、若年層に向けた啓発も新たに行う予定です。

また、SNS等を活用した啓発活動事業の拡充も検討しており、積極的な啓発活動を展開してまいります。

客引き行為の適正化に向けましては、客引き行為への指導のみならず、地域全体で客引き行為の禁止という気運を高め、環境づくりを進めることが極めて重要です。

現在、地元の皆様には官民連携による合同パトロールの実施や、商店街での「客引き防止アナウンス」の放送、啓発ポスターを掲示などにご協力いただいております。

大阪市といたしましては、今後も悪質な客引き行為は絶対に許さないという強い決意のもと、皆様とともに客引き行為の適正化に取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

次に、放置自転車やはみ出し看板、はみ出し営業など、歩行者の安全・安心な通行環境の確保についてご説明いたします。

昨年の万博を契機に、ミナミには多くの方がお越しになられており、通行環境の確保は、非常に重要な課題と認識しております。

はみ出し看板などにつきましては、地域の夜間パトロールに合わせて是正指導を実施しており、とりわけはみ出し営業店舗に対しては、警察と連携した指導強化に取り組んでおります。

放置自転車については、官民連携による自転車ワーキングでの議論を踏まえ、撤去強化や啓発活動に取り組むとともに、警告後直ちに撤去作業に着手するリアルタイム撤去を継続実施したところ、作業の効率化による撤去台数の増加だけでなく、放置台数そのものの減少へとつながってきています。

また、昨年4月からは民間委託による夜間撤去を毎晩実施しており、平日だけでなく休日も含めた夜間帯の撤去を推進しております。

しかしながら、ミナミには地域で働く従業員やお店を利用される方の自転車も多く、道路を適正に利用し、安全・安心なまちづくりを進めていくには、地域のご協力が必要不可欠でございます。

今後も快適な道路空間の創出にむけ、大阪市として強いメッセージを発信していきたいと考えておりますので、地域の皆様にもぜひご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

次に、御堂筋の活性化についてご説明いたします。

本市では令和元年に策定した御堂筋将来ビジョンの実現に向け、側道歩行者空間化の整備を行っております。

昨年度末には長堀通から難波西口交差点区間の整備が完了し、国内外の多くの方々に広がった歩道をご利用いただいております。

また、広がった歩行者空間では、国の制度も活用しながら、新たな利活用に向けた社会実験等に取り組んでおります。

今後も、具体的な活用方法やその仕組みについて、引き続き地域の皆様と連携を進めていき、御堂筋の整備によって生まれた回遊や賑わいを、ミナミの更なる活性化につなげていきたいと考えております。

次に、「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現」についてご説明いたします。

訪日外国人旅行者数については、昨年1月から11月までの間、連続して単月過去最高を記録し、ミナミもインバウンドの活気で溢れています。

大阪市では、地域の皆様と連携して、世界を惹きつける観光拠点、大阪の新しい顔として「なんば広場」を整備し、昨年9月からは、道路の幅広い活用を目的とした歩行者利便増進道路制度を活用し、地域の組織による管理運営が開始されております。

これによりまして、地域の皆様や民間企業が主催する多様なイベントも実施され、安全・安心を確保しつつ、日常的に多くの人々が訪れ、にぎわい創出に寄与する空間となっております。

また、賑わいを見せている「とんぼりリバーウォーク」につきましても、民間委託による警備員の配置をはじめ、ごみのポイ捨て防止を多言語で呼びかけるポスターの掲出や、関係区局が連携して清掃頻度を増やすなど「とんぼりリバーウォーク」の環境美化を推進し、より一層の魅力向上に取り組んでおります。

なんば広場から御堂筋、そして道頓堀川の水辺空間まで回遊できる、連続性のある人中心の魅力的な空間を創出することで、ミナミエリアの一層の魅力向上や賑わいの創出に大きく寄与すると考えております。

地域の皆様には、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、ミナミエリアは街並みやグルメなど、非常に素晴らしいポテンシャルを広くご認識されている一方で、ごみのばい捨てや路上喫煙、放置自転車、客引きなど、様々な課題も顕在化している現状にあります。

ミナミエリアは、これからも多くの人々を惹きつけ、そして愛されるエリアになると確信しております。

大阪市では、顕在化している諸課題に対し、スピード感をもって対処するため、昨年8月、市長をトップとしてミナミの環境改善に向けた庁内検討会議を立ち上げ、現在も対策の協議・検討を進めているところです。

ミナミの環境改善につきましては、大阪府から充ちただく宿泊税もしっかりと活用する具体的な取組について、検討を進めてまいります。

むすびとなりますが、大阪・関西万博を終え、大阪市はこれまで以上に大阪の魅力を世界へ力強く発信し、国際都市にふさわしいまちづくりに邁進してまいります。

地域の皆様、関係者の皆様と共に、多くの方々に愛され続けるミナミのさらなる活性化に全力で取り組む所存でございますので、今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府警察副本部長

本日、ご臨席の皆様には、平素から警察行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜っております。

そして昨年は、万博の安全対策に多大なご協力を頂いたことに対しまして、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

大阪府警察では、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向け、悪質ホストクラブや客引き等の風俗事犯対策、暴力団や匿名・流動型犯罪グループ、いわゆる「トクリュウ」の組織犯罪対策、悪質な運転者への交通対策、戎橋周辺における風俗環境対策など、歓楽街の治安の改善に向けた様々な対策を推進しております。

それでは、大阪府警察における昨年の主な取組について、順次、申し上げます。

まず、風俗事犯対策についてです。

近年の悪質ホストクラブ問題を受け、昨年6月に改正風営法が施行されました。

その周知のため、キャンペーンの実施やタレントを起用した啓発動画を制作し、地元の方々のご協力をいただいて、街頭のデジタルサイネージで放映するなど広く啓発活動を行ってまいりました。

また、府下全てのホストクラブを対象とした立入りをを行い、改正法についての周知や指導を行ったほか、昨年6月23日にはホストクラブの経営者、責任者らに対して合同説明会を開催し、業界に対して改正法の周知を図り、法令を遵守するよう指導を行いました。

取締りとしましては、インターネットカジノ店における遊技機使用賭博事件や、スカウトがホストクラブの女性客を性風俗店に紹介をした職業安定法違反事件の検挙のほか、性風俗店についても、女性客の紹介料として、いわゆる「スカウトバック」を支払った禁止行為により摘発を行いました。

また、客引きの取締りにつきましては、南警察署だけでなく、他所属の警察官を投入するなどしてホストクラブへの客引きの取締りを強化したほか、ホストクラブへ連れて行くまでに、いわゆる「風俗案内所」を介して客引きの摘発を逃れようとしていた事案についても、風俗案内所の従業員を共犯者として取締りを行いました。

このほか、昨年10月に風俗案内所を規制する条例を改正し、職業安定法やスカウトバックを支払ったりして風営法に違反した者を不適合者として排除する取組も行いました。

次に、暴力団等の組織犯罪対策についてです。

昨年、暴力団員がミナミを拠点とするトクリュウのメンバーに指示をして、客引きをしていた男性に対して暴行を加えた暴力行為等処罰に関する法律違反事件や、トクリュウ同士の対立に起因した凶器準備結集等の事件を検挙しました。

このように、歓楽街においては、暴力団やトクリュウ等の犯罪組織が密接に関係し、様々な利権をめぐる事件等を起こしており、警察としましては、引き続き、検挙対策等を強力に推進してまいります。

また、外国人犯罪につきましては、西心齋橋にあるベトナム人クラブで発生した監禁・傷害事件について、ベトナム人被疑者を検挙するとともに、同クラブに対する捜索差押えを実施し、店内に居合わせた多数の客を不法滞在者として一斉に検挙いたしました。

このほか、不法就労・不法滞在の防止に向けた啓発活動として、なんばウォークフォレストパークにおきまして、大阪出入国在留管理局等と合同で街頭キャンペーンを実施するなどし、抑止活動にも取組ましました。

次に、交通対策についてです。

かねてより、ミナミでは電動モビリティによる走行が多く、重傷ひき逃げ事件が発生するなど、交通ルールを無視した違法走行が頻繁に見られることから、これら悪質な運転者に対する取締りを強化しているところです。

特に、電動モビリティの一種である「ペダル付き電動バイク」については、深夜帯における違法走行への検挙活動を実施したほか、近畿運輸局と合同で、ミナミに所在する電動モビリティ販売店への訪問指導も実施し、購入者が無免許で運転することを知らながら、ナンバープレート等のついていない違法な「ペダル付き電動バイク」の販売を行っていたとして、販売店を道路交通法違反の共謀共同幫助として摘発しました。

引き続き、電動モビリティ対策については、検挙、啓発の両面から対策を講じてまいります。

次に、風俗環境対策についてです。

戎橋周辺の対策としまして、そこに集まる少年への補導や保護活動に努めるとともに、そこでのイメージを明るく健全なものとするために、高校生による吹奏楽コンサートや和太鼓演舞等を実施して少年の健全育成に係る啓発や、少年や地域住民・企業関係者らと共に清掃活動を実施して環境浄化活動を行いました。

また、戎橋周辺に出入りしていた少女を大阪府内外において売春させていた売春グループを検挙するなど、少年が被害者となる事件についても取締りを強化しています。

引き続き、関係機関と連携し、少年たちが被疑者や被害者にならないよう各種取組を推進してまいります。

このほか、宗右衛門町に設置された違法な巨大デジタルサイネージについては、大阪市と連携して、設置業者に対して指導・警告等を行い、現在は放映を停止し、撤去をする方向で動いております。

これまで申し上げた取組等により、ミナミの治安情勢や風俗環境は一定の改善が見られるものの、刑法犯の認知件数は、コロナ禍が明けた令和4年から増加に転じており、予断を許さない状況にあります。

また、トクリュウ等の犯罪組織が、歓楽街における風俗営業等に関わり、その収益を資金源としている実態が窺われます。

この様な情勢を踏まえ、引き続き、各種取組を推進し、更なるミナミの治安の改善と風俗環境の浄化に取り組んでまいります。

今後も、大阪府警察といたしましては、安全で活気あふれるミナミの街の一層の実現に向け、各種警察活動を強力に推進してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪商工会議所会頭

皆様からこれまでの取り組み課題をお伺いし、今のミナミの賑わいは一朝一夕でできるものではないということを改めて認識いたしました。

岡本会長、福永発起人をはじめ、地元の皆様の地道な取組、そして森岡副知事、西山副市長、篠原副本部長をはじめとする関係者の皆様のご支援に、心から感謝申し上げます。

大阪商工会議所でも、かねてより地域の声を受けまして、トイレや喫煙所の整備、ごみ処理や清掃、違法駐輪の対策強化に向けて、宿泊税を活用した環境整備を要望しておりました。

今回、大阪府が10億円になる予算をミナミの環境整備に充てられ、大阪市が地域のニーズを踏まえて取り組むことになりました。

官民連携による安心・安全、快適なまちづくりが実現されつつあることを、心強く思っております。

本日は、2点を申しあげたいと思います。

まずは、まちなかの広場、小さな公園など、いわゆる公共空間の重要性でございます。

一昨年、大阪の主たる電鉄会社やディベロッパー、具体的には南海さん、阪急阪神さん、JRさん、近鉄さん、大阪メトロさん、京阪さん、それから三井不動産さん、大阪ガスさん、関西電力さん、大林組さん、竹中工務店さん等の実務者を中心に議論し、大阪商工会議所から「P・A・R・Kな大阪都心」という構想を発表いたしました。

この構想の中には、まちなかの広場や小さな公園をその地域の独立性と自律性、いわゆる「シビックプライド」を高めるためものにしていくため、広告費等で活動費用をまかなっていかうという提案もございました。

その先行する好事例が、府・市・議会そして府警本部、地元の皆様のご尽力で、昨年3月に全面オープンしたなんば広場でございます。

ミナミにおきましても、気軽に散歩もイベントもできる、かつ安心・安全で災害時には緊急の拠点となりうる小さな広場、小さな公園の質的、デザイン的な充実を目指すことは次のステップになると考えています。

もう1点は、ミナミにおきましては、歴史・文化によっても、安心・安全を高めることができるのではないかと考えています。

江戸時代におきまして、ミナミは五座と言われまして、日本最大の歓楽街、劇場街、ドラマシティでございました。

法政大学元総長の田中優子先生によりますと、近松門左衛門はイギリスのシェイクスピアに匹敵する、世界の大文学者であるということでございます。

その近松門左衛門が曾根崎心中を初演したのが、大阪ミナミの竹本座でございます。

その前には、小さな石碑が立っております。

ストーリーのコンテンツが、まちづくり、観光のベースにあるという話は言われて久しいわけですが、歴史・文化のストーリーによって、まちがグレードアップをするということは、強い安心・安全にもつながる可能性があると思います。

東京にも京都にもない大阪・ミナミの歴史・文化に注目して、グレードアップを考えていきたいと思っております。

いずれにしましても、まちの基礎は安心・安全でございます。

地元の皆様、行政、警察が一層連携を深めまして、先ほどの歴史・文化によるグレードアップによって、安心・安全なミナミをより発展できるよう関係各位のご支援をお願い申し上げます。

○ 関西経済同友会常任幹事

2000年代初め、ミナミの治安や環境には様々な課題が多くありました。

同友会では「大阪・ミナミの浄化と活性化に向けて」という提言を出し、その中で、自治体、関係諸機関、地元、市民、経済団体が、大阪・ミナミの浄化と活性化という共通の目標に向けて、異なる役割を担いながら協力し合い、オール大阪の取組として、大阪を愛し、誇りとすることができれば、大阪の元気と再生にとって大きな力になることは間違いないと当時述べさせていただきました。

そして、治安回復運動に取組ました。

そうしたこともあり、2005年に発足したミナミ活性化協議会に、我々も参加させて頂くことになりました。

以来20年余り、行政、警察、また地域をはじめとした関係する皆様方のご努力、献身的な活動により、ここミナミは、治安改善、美化が進み、多くの「人」が行き交い、現在のような、活気あるエリアへと変化を遂げてまいりました。

皆さまの継続的な取組に対し、心より敬意を表します。

そのうえでこれからのミナミについて、「どうすれば魅力を高められるか」について

私も非常に課題認識を持っております。

ミナミの魅力は「食べる」「歩く」そして「人とつながる」という三つの体験にあると考えます。

現在のミナミエリアはインバウンド活気にあふれ、梅田エリアの3倍のインバウンド観光客がお越しになっております。

ですが、表面的な観光では長続きしないのではないかと考えております。

例を挙げますと、グリコの看板で写真を撮り、たこ焼きを食べて次へ。

また通天閣で写真を撮り、串カツを食べて次へ。

これらの移動は観光バス。

これでは地域に深く関わる機会も少なく、エリアの良さを皆で守っていこうという愛着も生まれづらいのではないかと考えます。

ごみ問題等がその一環だと思います。

なんばの街をどうとらえるか、どのようにしていくか、これのキーとなるのは、「歴史の層、レイヤー」だと考えます。歴史の積み重ねによっていまの街があるという考え方です。

なんばは江戸時代からあった街ですが、街の切れ目でもありました。

昔は大阪球場、今はなんばパークスが建つ場所より南側はネギ畑でした。

そして現在のなんば広場の北側、丸井様が入居するビルが街の切れ目です。

この切れ目には昔、遊郭があり、お茶屋や演芸場もありました。

遊郭は明治45年の難波の大火で消滅しましたが、エンターテインメントと食の文化は残り、現在にも続いています。

また、南に行きますと通天閣のある新世界エリアもございます。

その名の通り明治末期の博覧会会場後につくられた街、新しい世界です。

先ほど申したように江戸時代の街の切れ目がなんばですので、さらに街が南下したと言えます。

この新世界も博覧会跡地がルナパークになるのですが、そのルナパークは短命に終わり、演芸場等ができ、労働の方々の施設に変容するなど、街の様相が次々と変わってきたのが特徴です。

その天王寺での博覧会による区画整備でできた日本橋エリアは、戦前廃品回収で得た部品をラジオに組み立てる。

オーディオやパソコン、ゲームへと今は変貌しています。

このように一口にミナミと申しましても、エリアがそれぞれ自然発生的な特徴を見せており、それぞれのエリアに「歴史の層、レイヤー」があると言えるのではないのでしょうか。

このそれぞれのエリアを回遊していただき、「食べる」「歩く」「人とつながる」という三つの体験を通してリピーターになっていただくこと、これがさらにミナミの魅力

を高める切り口であると私も考えております。

例えば、まず新今宮の駅で降りていただいて、新世界、日本橋、難波、そして道頓堀と回遊していただく。

ウォーカブルとよく言われますが、シニアの方、子供さん、歩くのが困難な方にもエリアからエリアへ回っていただきたい。

この点は財界の働きかけだけでは難しく、街の皆さま、行政、企業との連携などを模索していきながら、困難な課題ではありますが、必要なことであり、ミナミに関わる皆さまと一緒にあればきっとできると考えております。

実際に、回遊についてまず実現できましたのが「なんば広場」です。

2025年4月に完成したこの広場は、2008年に地元商店街の勉強会が放置自転車問題に取り組んだことから始まりました。

やがて「公共広場をつくろう」という地域の力による運動へと発展しました。

町衆からはじまったこの広場は、日本でも非常に珍しい実績となりました。

なんば広場によって、車中心の道路を歩行者に優しい空間へと転換しました。

世界の都市は歩きやすさを重視する方向へ進んでおり、ミナミもその流れに加わりました。

目標は「活気と快適さを両立する広場」です。

これからも皆様と一緒に、ミナミ・大阪をさらに魅力ある街にするよう取り組んで参りたいと思っています。

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

平素は、ミナミの歓楽街環境浄化、地域の活性化のために、皆様の日々の地道な活動に、心から感謝しているところでございます。

特に、客引きの問題については、大阪市と大阪府警察が中心となって、指導、取締りや合同パトロールなど、様々な取組を行っていただき、数年前と比べても改善していると感じているところです。

そのほか、暴力団などの組織犯罪に対する取締りも行っていていただき、地元として、心強く感じており、大変感謝しております。

引き続き、環境浄化に向けた取組、取締りをお願いいたします。

ここで改めて、私から要望を申し上げます。

私は、ミナミの街を「世界一、安全・安心なまち」にして、世界の「モデル地区」にしたいと考えております。

客引きが悪質・巧妙化する中、現在は、大阪市の客引き適正化指導員のほか、繁華街対策員も客引き対策に加わり、悪質な客引き行為に関して一定の効果をあげていただいています。

しかしながら、まだまだ手を緩めることができない状況にあることから、客引き適正化指導員や繁華街対策員のさらなる増員をお願いし、より効果的な運用ができる条

例改正の検討や、大阪市や大阪府警察を中心とした取締りの強化をしていただきたいのです。

これらの対策をとることで、「客引きを行わせない環境」を構築することができ、安全で安心なミナミになると、私は強く信じています。

昨年は、大阪・関西万博が開催され世界から大阪が大きく注目を浴びました。

これからも、ミナミが魅力とにぎわいのあふれる街として繁栄していくには、「ミナミに来てよかった」、「もう一度行きたい」と思ってもらうことが大切で、そのためにもミナミのまちを安心して訪れ、安全に楽しんでもらうことが重要です。

今後も「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、行政、警察、各団体と連携をしながら、ミナミの発展のために取り組んでまいりたいと思います。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第21回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント等

代表者会議終了後、同所において啓発イベントを行い、大阪府警察音楽隊の演奏の後、決意表明（シュプレヒコール）を実施した。

第 21 回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成 17 年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、安全で誰もが安心して楽しむことができるミナミの実現に向けて様々な対策を推進してきた。

その結果、ミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなった。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出と、その発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

昨年は、大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの人々がミナミを訪れ、安全・安心かつ明るく楽しい活気あるミナミの魅力を十分にアピールすることができた。引き続き、ミナミを訪れる全ての人々が「ミナミに来てよかった」と思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、総意・総力で次の 2 点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

一、 『安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締り及び排除活動を強化するとともに、客引きを利用させないための来訪者への広報啓発、違法店舗の排除や客引きを活用する店舗の根絶など、風俗環境の健全化に向けた対策を推進する。また、リアルタイム撤去や夜間撤去を継続するなど、放置自転車対策を推進するとともに、各種犯罪対策を継続し、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ明るく快適に楽しめる人気の高いまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力に誇りをもち、地元へ愛され、更には世界から注目され続ける持続可能な観光地作りとおもてなしを充実させるとともに、大阪のおもてなし玄関口「なんば広場」や「御堂筋の歩行者空間」を活用し、人中心の居心地よく安心感にあふれた回遊エリアをつくり上げ、地元・行政・経済界が一体となって、世界を惹きつける魅力とにぎわいのあふれるまちづくりを推進する。

令和 8 年 1 月 20 日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	吉 村 洋 文
大阪市長	横 山 英 幸
大阪府警察本部長	岩 下 剛
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	鳥 井 信 吾
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	永 井 靖 二

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク

公益社団法人関西経済連合会

公益財団法人大阪観光局